



2021年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年5月14日

上場会社名 宮地エンジニアリンググループ株式会社
 コード番号 3431 URL <https://www.miyaji-eng.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青田 重利

問合せ先責任者 (役職名) 企画・経理部長 (氏名) 遠藤 彰信

TEL 03-5649-0111

定時株主総会開催予定日 2021年6月25日 配当支払開始予定日

2021年6月28日

有価証券報告書提出予定日 2021年6月25日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	55,268	13.4	5,501	5.0	5,547	3.3	3,808	45.5
2020年3月期	63,841	22.6	5,241	20.5	5,368	18.4	2,616	27.5

(注) 包括利益 2021年3月期 5,339百万円 (110.9%) 2020年3月期 2,531百万円 (40.6%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	559.63		13.5	9.2	10.0
2020年3月期	384.50		10.4	9.3	8.2

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 百万円 2020年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	60,738	35,006	49.6	4,429.74
2020年3月期	59,690	30,333	43.8	3,844.08

(参考) 自己資本 2021年3月期 30,147百万円 2020年3月期 26,161百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	1,094	2,587	1,741	8,516
2020年3月期	4,669	2,184	955	11,751

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期		0.00		80.00	80.00	544	20.8	2.2
2021年3月期		0.00		80.00	80.00	544	14.3	1.9
2022年3月期(予想)		0.00		80.00	80.00		20.2	

(注) 2020年3月期期末配当金の内訳 普通配当 60円00銭 記念配当 20円00銭

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	26,000	7.2	1,600	50.2	1,600	51.5	1,000	52.6	146.94
通期	60,000	8.6	4,500	18.2	4,500	18.9	2,700	29.1	396.73

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期	6,919,454 株	2020年3月期	6,919,454 株
期末自己株式数	2021年3月期	113,818 株	2020年3月期	113,777 株
期中平均株式数	2021年3月期	6,805,660 株	2020年3月期	6,805,729 株

(参考)個別業績の概要

2021年3月期の個別業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	669	10.7	540	14.6	542	14.6	540	14.6
2020年3月期	604	28.8	471	39.3	473	39.4	471	39.7

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	79.42	
2020年3月期	69.31	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2021年3月期	9,586		9,565		99.8		1,405.53	
2020年3月期	9,588		9,569		99.8		1,406.11	

(参考) 自己資本 2021年3月期 9,565百万円 2020年3月期 9,569百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17
4. その他	18
(1) 役員の異動	18
(2) 生産、受注及び販売の状況(連結)	18

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況にありますが、各種政策の効果により持ち直しの動きも見られます。しかしながら、国内外の感染拡大による下振れリスクの高まりに十分注意する必要があります。

公共投資は底堅く推移しておりますが、当社グループの主力である道路橋・鉄道橋などの橋梁事業の今年度の総発注量は、回復傾向にはあるものの、前年度同様低調に推移しました。

このような環境下、受注高につきましては、第2四半期連結会計期間に発注された大型案件を受注したことから、706億95百万円（前年同期比31.5%増）となりました。

その具体的な内容は次のとおりであります。

橋梁では、国土交通省の只越大橋、八王子南B P館高架橋、新川島橋上部その2工事、為当第1橋、海田高架橋、西日本高速道路株式会社の吹田JCT～池田IC橋梁更新建設工事、幸地ICランプ橋、名古屋高速道路公社の新洲崎工区工事、岩手県の徳田橋、千葉県の三郷流山橋その2工事、兵庫県の松沢B P上部工事、神奈川県横浜市の新本牧ふ頭建設工事（ケーソン鋼殻製作工）などを、また建築他では株式会社竹中工務店他の名古屋市国際展示場鉄骨工事、株式会社大林組の筑波大学病院免震工事、株式会社NHKテクノロジーズのNHK菖蒲支線更新鉄塔工事などを受注いたしました。

売上高につきましては、手持ち工事が概ね順調に進捗したものの、552億68百万円（同13.4%減）となりました。

その具体的な内容は次のとおりであります。

橋梁では、国土交通省の気仙沼湾横断橋、新町川橋、中日本高速道路株式会社の大西南第2高架橋他10橋鋼上部工事、西蟹田第1高架橋他6橋鋼上部工事、葛葉川橋、西日本高速道路株式会社の水尻高架橋、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構の福井橋りょう、木の芽川橋りょう、宝町橋りょうなどを、また建築他では、大林組他J Vの北海道ボールパーク鉄骨工事、株式会社大林組の梅田北ビル免震工事などを売上げました。

損益につきましては、千葉工場改革プロジェクトによる工場構内ヤードの有効活用促進などの生産効率化、工事採算性向上の取り組み、働き方改革による業務効率化などにより、営業利益は55億1百万円（同5.0%増）、経常利益は55億47百万円（同3.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は38億8百万円（同45.5%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(宮地エンジニアリング)

受注高につきましては、大型工事の受注があったことにより、366億27百万円（同8.8%増）となりました。

売上高につきましては、概ね順調に進捗したものの352億2百万円（同14.5%減）となりました。

損益につきましては、生産の効率化、工事採算性の向上などの取り組みにより、営業利益は39億2百万円（同5.6%増）となりました。

(エム・エムブリッジ)

受注高につきましては、大型工事の受注があったことにより、340億64百万円（同69.5%増）となりました。

売上高につきましては、概ね順調に進捗したものの199億50百万円（同11.6%減）となりました。

損益につきましては、生産の効率化、工事採算性の向上などの取り組みにより、営業利益は16億31百万円（同12.7%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

資産合計は、前連結会計年度末と比較して10億48百万円増加し、607億38百万円となりました。主な要因は、現金預金が32億34百万円減少し、受取手形・完成工事未収入金等が25億29百万円、有形固定資産が7億16百万円、投資有価証券が7億62百万円、それぞれ増加したためであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比較して36億24百万円減少し、257億31百万円となりました。主な要因は、支払手形・工事未払金等が47億37百万円、短期借入金が10億円それぞれ減少し、未成工事受入金が16億76百万円増加したためであります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比較して46億72百万円増加し、350億6百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が32億64百万円、その他有価証券評価差額金が6億47百万円、非支配株主持分が6億87百万円、それぞれ増加したためであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して32億34百万円減少し、85億16百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況と増減要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、10億94百万円の資金増加（前連結会計年度は46億69百万円の資金増加）となりました。主な要因は、税金等調整前当期純利益58億95百万円の計上、減価償却費10億4百万円の計上、固定資産圧縮損9億82百万円の計上、未成工事受入金の増加16億76百万円があった一方で、売上債権の増加25億29百万円、仕入債務の減少47億5百万円、法人税等の支払額12億86百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、25億87百万円の資金減少（前連結会計年度は21億84百万円の資金減少）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出25億96百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、17億41百万円の資金減少（前連結会計年度は9億55百万円の資金減少）となりました。主な要因は、短期借入金の減少10億円、配当金の支払額5億41百万円、非支配株主への配当金の支払額1億21百万円によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
自己資本比率 (%)	40.0	38.9	43.8	43.8	49.6
時価ベースの自己資本比率 (%)	30.9	25.2	22.9	18.5	26.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	0.9	0.4	—	0.8	2.6
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	116.1	233.1	—	123.8	34.2

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(注5) 2019年3月期の「キャッシュ・フロー対有利子負債比率」及び「インタレスト・カバレッジ・レシオ」については、営業キャッシュ・フローがマイナスのため、記載しておりません。

(4) 今後の見通し

わが国経済の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染拡大の防止策を講じるなか、各種政策の効果や海外経済の改善もあり、持ち直しの動きが続くことが期待されますが、国内外の感染拡大による下振れリスクの高まりに十分注意する必要があります。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要があります。

当業界におきましては、昨年12月に、高規格道路のミッシングリンク解消や4車線化などのネットワーク整備の加速化・深化が織り込まれた「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」が閣議決定され、また2021年度以降は大阪湾岸線西伸部や名神湾岸連絡線など西日本エリアで大型工事が控えています。

当社グループの主力である道路橋・鉄道橋などの橋梁事業において、今後も一定量の新設橋梁の発注が見込まれるなか、グループが有する豊富な実績・技術力・架設力を最大限活かし、技術提案力、積算精度の更なる向上を図り、情報収集力を高め、総力を挙げて安定的な受注の確保に努め、設計・計画・製作から架設までの総合エンジニアリング力の強化と採算性の更なる向上を図ってまいります。また、高速道路や新幹線などの大規模更新・修繕工事の保全・補修事業、ハイブリッドケーソン・浮体構造物・沈埋函などの沿岸構造物事業、シールドトンネル向けの鋼製セグメント事業、有望な製品の多いFRP事業、および建築・土木関連事業などに経営資源を積極的に投入し経営基盤を強化し、併せて、i-Constructionと働き方改革の推進に積極的に取り組み、生産性を向上させ、一段の飛躍を図ってまいります。

また、グループとしての経営管理体制を一層強化し、安定した黒字体質を確固たるものとするよう努め、グループの中核である宮地エンジニアリング株式会社、エム・エムブリッジ株式会社とともに更なる事業発展を図ってまいります。両社は、技術提案力の強化など受注力の向上に努め、また、経済合理性を最大限追求することを基本に、製造部門の生産性向上・生産効率化を図り、資機材の共同活用、技術の相互利用・共同開発、人材交流の推進に取り組んでおりますが、更なるシナジーの創出に努め、グループの企業価値を高めると同時に経営基盤を一層強化してまいります。

なお、当社グループは、2019～2021年度中期経営計画の最終年度を迎え以上の取り組みを一層推進してまいります。

また、当社子会社の宮地エンジニアリング株式会社では、2018年度から2021年度までの4年間で千葉工場に係る総額50億円程度の設備投資を計画し着手しましたが、新型コロナウイルス禍に伴い、経済や企業活動の先行きに不透明感が増したため、生産性向上やコスト削減、業務効率化などに直結する投資は継続する一方で、計画中の新たな投資については延期しております。今後の事業環境を見極めた上で投資の再開を決定いたします。

なお、2022年3月期の連結業績につきましては、売上高600億円、営業利益45億円、経常利益45億円、親会社株主に帰属する当期純利益27億円を予想いたしております。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループは、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題のひとつと考えております。また、中長期的視点に立った、持続性の高い企業体質の確立と企業価値の向上を考慮した利益配分を行うことを基本方針といたしております。

当期の期末配当は、1株当たり80円とさせていただきます予定であります。また、2022年3月期の配当につきましては、期末配当1株当たり80円とさせていただきます予定です。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性および企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、国内外の情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	11,751,586	8,516,686
受取手形・完成工事未収入金等	28,314,518	30,843,945
未成工事支出金	661,750	752,875
材料貯蔵品	80,632	38,358
その他	957,276	1,067,866
流動資産合計	41,765,764	41,219,731
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	7,181,930	7,755,479
減価償却累計額及び減損損失累計額	△5,472,987	△5,554,153
建物・構築物(純額)	1,708,942	2,201,326
機械・運搬具	10,843,956	12,059,720
減価償却累計額及び減損損失累計額	△9,132,985	△9,470,177
機械・運搬具(純額)	1,710,970	2,589,542
工具器具・備品	1,198,767	1,213,483
減価償却累計額及び減損損失累計額	△956,881	△967,636
工具器具・備品(純額)	241,885	245,846
土地	7,725,638	7,598,943
リース資産	656,237	672,577
減価償却累計額	△356,358	△420,459
リース資産(純額)	299,878	252,117
建設仮勘定	510,675	26,890
有形固定資産合計	12,197,991	12,914,667
無形固定資産		
投資その他の資産	238,533	305,924
投資有価証券	4,216,514	4,979,431
関係会社株式	52,000	52,000
繰延税金資産	791,918	843,965
その他	457,149	452,228
貸倒引当金	△29,690	△29,690
投資その他の資産合計	5,487,892	6,297,936
固定資産合計	17,924,416	19,518,528
資産合計	59,690,181	60,738,259

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	13,264,426	8,526,988
短期借入金	3,500,000	2,500,000
未払金	552,740	1,233,784
未払法人税等	807,339	1,022,607
未成工事受入金	1,646,540	3,322,654
完成工事補償引当金	595,550	584,926
工事損失引当金	1,480,500	1,859,700
賞与引当金	662,064	748,778
災害損失引当金	125,869	—
圧縮未決算特別勘定	915,858	—
その他	529,525	857,095
流動負債合計	24,080,414	20,656,534
固定負債		
長期借入金	300,000	300,000
リース債務	254,269	205,012
再評価に係る繰延税金負債	1,639,718	1,639,718
役員退職慰労引当金	155,873	141,300
退職給付に係る負債	2,869,528	2,781,210
資産除去債務	19,500	—
その他	37,164	8,041
固定負債合計	5,276,055	5,075,284
負債合計	29,356,470	25,731,818
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,000,000	3,000,000
資本剰余金	3,746,206	3,746,206
利益剰余金	15,456,512	18,720,714
自己株式	△230,500	△230,586
株主資本合計	21,972,218	25,236,334
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,183,241	1,831,106
土地再評価差額金	3,240,566	3,240,566
退職給付に係る調整累計額	△234,489	△160,806
その他の包括利益累計額合計	4,189,318	4,910,866
非支配株主持分	4,172,173	4,859,240
純資産合計	30,333,710	35,006,440
負債純資産合計	59,690,181	60,738,259

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
完成工事高	63,841,859	55,268,380
完成工事原価	55,208,689	46,436,048
完成工事総利益	8,633,170	8,832,332
販売費及び一般管理費	3,392,139	3,331,082
営業利益	5,241,030	5,501,249
営業外収益		
受取利息	2,077	1,585
受取配当金	133,235	133,227
受取賃貸料	30,258	25,322
スクラップ売却益	3,650	6,200
その他	21,011	18,484
営業外収益合計	190,233	184,819
営業外費用		
支払利息	37,716	31,984
シンジケートローン手数料	—	90,000
前受金保証料	19,421	13,601
その他	5,141	2,763
営業外費用合計	62,278	138,350
経常利益	5,368,985	5,547,719
特別利益		
固定資産売却益	2,420	532
投資有価証券売却益	—	50,684
関係会社株式売却益	1,998	—
ゴルフ会員権償還益	17,200	—
圧縮未決算特別勘定戻入額	—	915,858
補助金収入	—	177,147
受取保険金	1,317,540	313,369
その他	—	10,568
特別利益合計	1,339,158	1,468,160
特別損失		
固定資産除却損	148,236	60,505
災害による損失	77,067	—
災害損失引当金繰入額	125,869	—
固定資産圧縮損	84,141	982,187
圧縮未決算特別勘定繰入額	915,858	—
減損損失	675,454	—
投資有価証券評価損	262,047	—
その他	218	78,030
特別損失合計	2,288,894	1,120,724
税金等調整前当期純利益	4,419,249	5,895,155
法人税、住民税及び事業税	1,256,485	1,504,077
法人税等調整額	△40,285	△255,937
法人税等合計	1,216,199	1,248,139
当期純利益	3,203,049	4,647,016
非支配株主に帰属する当期純利益	586,274	838,360
親会社株主に帰属する当期純利益	2,616,775	3,808,655

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	3,203,049	4,647,016
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△351,869	647,865
土地再評価差額金	△246,678	—
退職給付に係る調整額	△73,200	44,267
その他の包括利益合計	△671,748	692,132
包括利益	2,531,301	5,339,148
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,953,499	4,504,239
非支配株主に係る包括利益	577,801	834,909

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自2019年4月1日 至2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,000,000	3,746,206	12,992,682	△230,292	19,508,596
当期変動額					
剰余金の配当			△408,346		△408,346
親会社株主に帰属する当期純利益			2,616,775		2,616,775
自己株式の取得				△208	△208
土地再評価差額金の取崩			255,401		255,401
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	2,463,829	△208	2,463,621
当期末残高	3,000,000	3,746,206	15,456,512	△230,500	21,972,218

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	1,535,110	3,487,245	△161,289	4,861,066	3,701,061	28,070,724
当期変動額						
剰余金の配当						△408,346
親会社株主に帰属する当期純利益						2,616,775
自己株式の取得						△208
土地再評価差額金の取崩						255,401
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△351,869	△246,678	△73,200	△671,748	471,112	△200,635
当期変動額合計	△351,869	△246,678	△73,200	△671,748	471,112	2,262,985
当期末残高	1,183,241	3,240,566	△234,489	4,189,318	4,172,173	30,333,710

当連結会計年度 (自2020年4月1日 至2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,000,000	3,746,206	15,456,512	△230,500	21,972,218
当期変動額					
剰余金の配当			△544,454		△544,454
親会社株主に帰属する当期純利益			3,808,655		3,808,655
自己株式の取得				△85	△85
土地再評価差額金の取崩					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	3,264,201	△85	3,264,115
当期末残高	3,000,000	3,746,206	18,720,714	△230,586	25,236,334

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	1,183,241	3,240,566	△234,489	4,189,318	4,172,173	30,333,710
当期変動額						
剰余金の配当						△544,454
親会社株主に帰属する当期純利益						3,808,655
自己株式の取得						△85
土地再評価差額金の取崩						—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	647,865	—	73,682	721,548	687,066	1,408,614
当期変動額合計	647,865	—	73,682	721,548	687,066	4,672,730
当期末残高	1,831,106	3,240,566	△160,806	4,910,866	4,859,240	35,006,440

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	4,419,249	5,895,155
減価償却費	677,800	1,004,751
減損損失	675,454	—
固定資産圧縮損	84,141	982,187
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△17,200	—
完成工事補償引当金の増減額 (△は減少)	2,670	△10,624
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	△413,700	379,200
賞与引当金の増減額 (△は減少)	59,260	86,713
災害損失引当金の増減額 (△は減少)	125,869	△125,869
圧縮未決算特別勘定の増減額 (減少は△)	915,858	△915,858
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△1,306	△14,573
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△119,306	△47,699
受取利息及び受取配当金	△135,313	△134,812
支払利息	37,716	31,984
補助金収入	—	△177,147
受取保険金	△1,317,540	△313,369
固定資産除却損	148,236	60,505
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△50,684
投資有価証券評価損益 (△は益)	262,047	—
関係会社株式売却損益 (△は益)	△1,998	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,314,679	△2,529,426
未成工事支出金の増減額 (△は増加)	△159,062	△91,124
その他のたな卸資産の増減額 (△は増加)	31,009	42,274
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	799,788	△204,529
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,704,671	△4,705,994
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	△488,146	1,676,113
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	417,544	862,477
その他	△8,975	△5,799
小計	4,384,090	1,693,850
利息及び配当金の受取額	135,313	134,812
利息の支払額	△37,813	△32,097
法人税等の支払額	△1,247,473	△1,286,923
法人税等の還付額	118,244	93,939
補助金の受取額	—	177,147
保険金の受取額	1,317,540	313,369
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,669,901	1,094,098

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,992,834	△2,596,063
有形固定資産の売却による収入	3,678	2,496
有形固定資産の除却による支出	△125,680	△33,265
無形固定資産の取得による支出	△82,079	△94,895
投資有価証券の売却による収入	—	143,172
関係会社株式の売却による収入	2,000	—
貸付けによる支出	△700	—
貸付金の回収による収入	5,168	4,188
敷金及び保証金の差入による支出	△22,617	△10,593
敷金及び保証金の回収による収入	9,594	19,121
ゴルフ会員権の売却による収入	550	550
ゴルフ会員権の償還による収入	28,800	—
その他	△10,434	△22,113
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,184,554	△2,587,402
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△350,000	△1,000,000
長期借入れによる収入	300,000	—
長期借入金の返済による支出	△300,000	—
リース債務の返済による支出	△83,285	△77,855
自己株式の取得による支出	△208	△85
配当金の支払額	△406,531	△541,776
非支配株主への配当金の支払額	△115,161	△121,879
財務活動によるキャッシュ・フロー	△955,186	△1,741,596
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,530,159	△3,234,900
現金及び現金同等物の期首残高	10,221,427	11,751,586
現金及び現金同等物の期末残高	11,751,586	8,516,686

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、橋梁、鉄骨等の鋼構造物の調査診断・点検、設計、製作、架設、補修・補強の請負ならびに土木工事、プレストレストコンクリート工事の設計、施工・工事管理の請負を主として行っております。当社は事業会社である宮地エンジニアリング株式会社及びエム・エムブリッジ株式会社等の支配、管理を目的とする持株会社であります。

したがって、当社グループは、事業会社を基礎としたセグメントから構成されており、「宮地エンジニアリング」、「エム・エムブリッジ」の2つを報告セグメントとしております。

「宮地エンジニアリング」とは、宮地エンジニアリング株式会社で、新設橋梁の設計・製作・現場施工、既設橋梁の維持・補修・補強、橋梁周辺鋼構造物、複合構造物の設計・製作・現場施工、その他鋼構造物の製作・現場施工、FRP構造物の販売、プレストレストコンクリート橋梁、その他土木事業、大空間・超高層建築物、鉄塔、煙突、工場建物、既設構造物の耐震・免震工事等を行っております。

「エム・エムブリッジ」とは、エム・エムブリッジ株式会社で、橋梁、沿岸構造物等の設計・製造・据付・販売及び修理、土木建築工事の請負・設計・工事監理等を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自2019年4月1日 至2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	宮地エンジ ニアリング	エム・エム ブリッジ				
売上高						
外部顧客への売上高	41,172,713	22,568,097	2,302	63,743,113	98,746	63,841,859
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,308,247	258,124	602,253	2,168,625	△2,168,625	—
計	42,480,960	22,826,221	604,556	65,911,738	△2,069,878	63,841,859
セグメント利益	3,694,679	1,447,592	471,704	5,613,977	△372,946	5,241,030
セグメント資産	44,970,900	15,341,086	9,588,960	69,900,947	△10,210,765	59,690,181
セグメント負債	22,841,906	6,798,382	19,409	29,659,697	△303,227	29,356,470
その他の項目						
減価償却費	609,538	68,939	171	678,649	△848	677,800
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	1,618,093	535,921	114	2,154,128	—	2,154,128

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに帰属しない当社(純粋持株会社)であります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額は、工事進行基準売上高の調整額及びセグメント間取引消去であります。

(2) セグメント利益の調整額は、工事進行基準利益の調整額△4,490千円、セグメント間取引消去△235,603千円及び全社費用△132,852千円であります。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(3) セグメント資産及びセグメント負債の調整額は、セグメント間債権債務消去であります。

3. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自2020年4月1日 至2021年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	宮地エンジ ニアリング	エム・エム ブリッジ				
売上高						
外部顧客への売上高	35,202,215	19,950,490	3,938	55,156,643	111,737	55,268,380
セグメント間の内部 売上高又は振替高	622,791	—	665,491	1,288,282	△1,288,282	—
計	35,825,006	19,950,490	669,429	56,444,926	△1,176,545	55,268,380
セグメント利益	3,902,838	1,631,767	540,803	6,075,409	△574,159	5,501,249
セグメント資産	42,440,003	18,831,632	9,586,051	70,857,686	△10,119,427	60,738,259
セグメント負債	17,112,595	8,836,827	20,538	25,969,961	△238,143	25,731,818
その他の項目						
減価償却費	891,642	114,939	64	1,006,645	△1,894	1,004,751
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	2,358,459	424,677	—	2,783,137	—	2,783,137

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに帰属しない当社(純粋持株会社)であります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額は、工事進行基準売上高の調整額及びセグメント間取引消去であります。

(2) セグメント利益の調整額は、工事進行基準利益の調整額12,581千円、セグメント間取引消去△458,114千円及び全社費用△128,626千円であります。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(3) セグメント資産及びセグメント負債の調整額は、セグメント間債権債務消去であります。

3. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度(自2019年4月1日 至2020年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位:千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
中日本高速道路株式会社	14,075,582	宮地エンジニアリング エム・エムブリッジ
国土交通省	11,142,810	宮地エンジニアリング エム・エムブリッジ

当連結会計年度（自2020年4月1日 至2021年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
国土交通省	10,369,729	宮地エンジニアリング エム・エムブリッジ
中日本高速道路株式会社	9,152,684	宮地エンジニアリング エム・エムブリッジ
西日本高速道路株式会社	6,715,144	宮地エンジニアリング エム・エムブリッジ

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自2019年4月1日 至2020年3月31日）

(単位：千円)

	宮地エンジニアリング	エム・エムブリッジ	合計
減損損失	675,454	—	675,454

当連結会計年度（自2020年4月1日 至2021年3月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自2019年4月1日 至2020年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自2020年4月1日 至2021年3月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自2019年4月1日 至2020年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自2020年4月1日 至2021年3月31日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	3,844.08円	4,429.74円
1株当たり当期純利益	384.50円	559.63円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	2,616,775	3,808,655
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	2,616,775	3,808,655
期中平均株式数(千株)	6,805	6,805

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	30,333,710	35,006,440
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	4,172,173	4,859,240
(うち非支配株主持分(千円))	(4,172,173)	(4,859,240)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	26,161,536	30,147,200
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末 の普通株式の数(千株)	6,805	6,805

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 役員の変動

役員の変動につきましては、2021年3月22日の「監査等委員会設置会社移行後の当社役員人事に関するお知らせ」にて公表しております。

(2) 生産、受注及び販売の状況(連結)

① 生産の状況

(単位:千円)

セグメントの名称	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)		当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
宮地エンジニアリング	41,055,265	64.3	35,052,963	67.6
エム・エムブリッジ	22,706,163	35.6	16,668,499	32.2
その他	2,302	0.0	3,938	0.0
調整	98,746	0.1	111,737	0.2
合計	63,862,479	100.0	51,837,138	100.0

② 受注の状況

(受注高)

(単位:千円)

セグメントの状況	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)		当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
宮地エンジニアリング	33,656,066	62.6	36,627,837	51.8
エム・エムブリッジ	20,097,140	37.4	34,064,111	48.2
その他	2,302	0.0	3,938	0.0
合計	53,755,510	100.0	70,695,887	100.0

(受注残高)

(単位:千円)

セグメントの名称	前連結会計年度末 (2020年3月31日)		当連結会計年度末 (2021年3月31日)	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
宮地エンジニアリング	45,879,204	62.9	47,304,826	53.6
エム・エムブリッジ	27,094,995	37.2	41,208,616	46.6
その他	—	—	—	—
調整額	△86,101	△0.1	△197,838	△0.2
合計	72,888,097	100.0	88,315,604	100.0

③ 販売の状況

(単位:千円)

セグメントの名称	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)		当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
宮地エンジニアリング	41,172,713	64.5	35,202,215	63.7
エム・エムブリッジ	22,568,097	35.3	19,950,490	36.1
その他	2,302	0.0	3,938	0.0
調整額	98,746	0.2	111,737	0.2
合計	63,841,859	100.0	55,268,380	100.0